

令和8年度 内部評価委員会 評価結果（令和8年5月18日開催）

【評価方法】5段階評価（総合評価）

1 令和7年度終了（事後評価）

（5：計画以上の成果、4：計画どおりの成果、3：計画に近い成果、2：わずかな成果、1：成果なし）

No	調 査 研 究 課 題 名	実施年度	担当	評価点
1	ミネラルウォーターおよび食品中のPFAS類の分析法検討	R7	化学	4.0
2	大分県における腸管出血性大腸菌の遺伝子型の推移	R7	微生物	3.8
3	Penner PCR法を利用したCampylobacter jejuniの型別	R7	微生物	3.8
4	ポリエチレングリコール(PEG)沈殿法を用いたノロウイルス検査法の検討	R7	微生物	3.9
5	気候変動が酸性雨にもたらす影響について	R6～R7	大気・特定化学物質	3.8
6	海域における気候変動と貧酸素水塊(DO)/有機物(COD)/栄養塩に係る物質循環との関係に関する研究	R5～R7	水質	3.5
7	環境DNA分析を活用したアリアケギパチの生息地調査	R7	水質、微生物	4.2

2 令和8年度継続（中間評価）

（5：独創性・貢献度が高く是非継続、4：継続した方がよい、3：部分的に検討要、2：大幅な見直し要、1：中止すべきである）

No	調 査 研 究 課 題 名	実施年度	担当	評価点
1	貝毒を主としたマリントキシシンー斉分析法の検討	R7～R8	化学	3.8

3 令和8年度新規（事前評価）

（5：独創性・貢献度が高く是非採択、4：採択した方がよい、3：部分的に検討要、2：大幅な見直し要、1：採択すべきでない）

No	調 査 研 究 課 題 名	実施年度	担当	評価点
1	ミネラルウォーター類を主とした食品等のPFAS検査における分析方法の検討	R8	化学	4.0
2	動物の抗体調査に基づくトキソプラズマ症および重症熱性血小板減少症候群の感染実態解明と動物由来感染症対策への応用 ～学官連携による一体的な取組～	R8～R9	微生物	3.8
3	水産加工施設から検出される一般細菌の菌種同定と汚染原因の推定	R8	微生物	3.5
4	光化学オキシダントの新環境基準達成に向けた要因調査	R8	大気・特定化学物質	3.7
5	センサー式大気環境測定機器を用いた簡易スクリーニング手法の検討	R8	大気・特定化学物質	3.6
6	外来生物コウライオヤニラミの環境DNA調査	R8	水質、微生物	3.9